

BEST. SUMMER. EVER

受験生にとっての勝負を分ける夏休みです。約40日間という長丁場。これまでの期間をうまく過ごせた受験生にとっては「決して油断してはいけない夏」、まだまだノリ切れていない受験生にとっては「ここから一気に逆転する夏」。この期間をどう過ごすかによって、合否が決まります。そんな「受験に勝つための夏休みの過ごし方」について、「大学選び」「実力の向上」の観点からご紹介します。

■1. 「基礎固め」「苦手科目の克服」をしよう！

高3生のみなさんにとって、長い夏休みはまとまった勉強時間がとれるチャンスです。焦って過去問などの問題演習ばかりに取り掛かりたくなるところですが、その前に「基礎固めができてるか」「苦手科目はないか」を振り返ってみてください。

覚えるべき英単語や文法などは頭に入っていますか？ 公式は正しく使えていますか？ できていると思っていた範囲でも、復習をしてみたら案外理解できていなかった、ということもあります。基礎が固まっていないのにいきなり応用問題を解くことはできません。まずは基本事項を徹底的に定着させましょう。

また、「苦手科目なんて1つもない！」という人は少ないでしょう。苦手意識までは持っていないくても、他と比べて点数が伸びない科目や、模試などでいつも間違えてしまう分野はありませんか。苦手科目は一番の得点アップ要素と言えます。夏休み中に克服しておきましょう。苦手科目を集中的に学習するには、夏期講習の受講がオススメです。

高1・2生のみなさんは、まだ受験まで時間があるし、宿題だけ終わらせておけばいいやと思いませんか？ 大学入試は、高1・2生の範囲から多く出題されています。受験生になってからまとめて学習するより、今のうちに分からないところがないようにしっかり押さえておく方が良いです。

■2. 志望校について考えよう！

高3・卒生のみなさんで、志望校が全く決まっていないという人もいます。万が一そういう人がいたら、早めに志望校の選定をしましょう。志望校が決まらないと目標がはっきりしませんし、学習指針も決まりません。半数以上の人が高3の春までに志望校を決定しています。

志望校選定の際には、第1志望校だけでなく、第2・第3志望の大学についても検討してください。受験間近になってからでは、併願校についてじっくり検討する時間がとれません。今のうちに受験可能性のある大学について調べておきましょう。

■3. オープンキャンパスに積極的に参加しよう。

まだ志望学部や大学が決まっていない人は、自分は何に興味があるのか、どんなことを学びたいのか、どんな職業につきたいのか、ということを考えるいい機会です。夏休みの間に興味がある分野の本を読んでみるのも良いですね。

時間があればぜひオープンキャンパスに参加してください。入学してから「こんなはずじゃなかったのに…」とならないためにも、その大学で本当にやりたいことはできるか、大学の雰囲気はどうかなど、自分の目で確かめておきましょう。オープンキャンパスに参加することで入学後のイメージが具体的にになり、やる気アップにもつながります。

オープンキャンパスへの参加は、高1・2生の方にもオススメです。高3生になったら、勉強に時間をとりたいのでゆっくりオープンキャンパスへ参加する時間がとれないかもしれません。志望校がはっきりと決まっていなくても、気になる大学のイベントに積極的に参加してみてください。こんな学問があるんだ！ この大学ではこんなことできるんだ！ など、新しい発見があるかもしれませんよ。

■4. 模擬テストを受けてみよう！

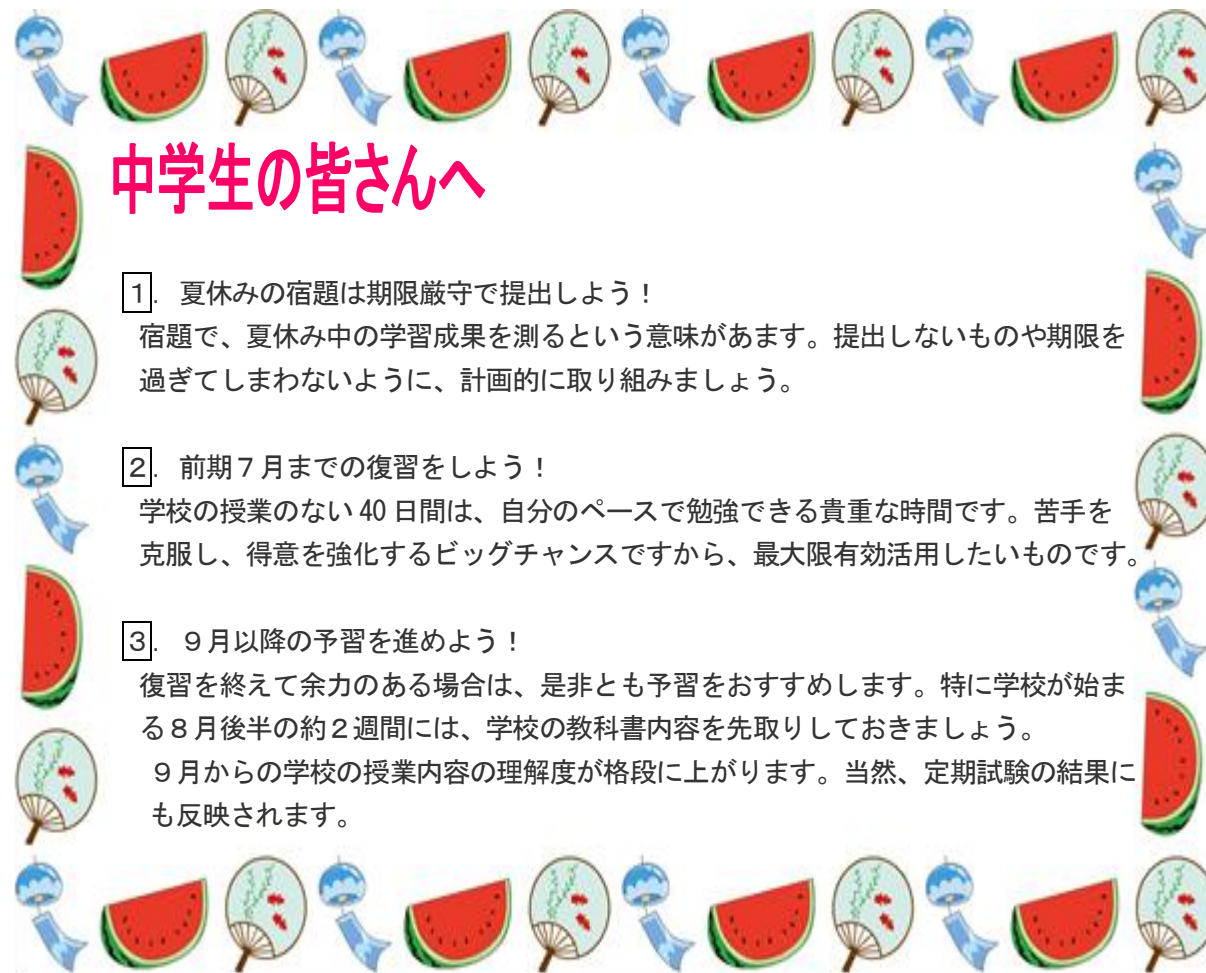
模擬テストが実施されます。夏休みの学習成果を試す何よりのチャンスです。志望校の合否判定も出ますし、モチベーションUPにもなります。過去の自分と比べてどう変化したかを知り、9月からの3ヵ月間での学習の方針を立てる目安にしましょう。受験本番へ向けて、自己分析に役立てましょう。(参考 Kei Net)



最高の夏にするために

勉強はもちろんやるべきですが、それ以外の普段できないことにもチャレンジできる期間です。1か月あれば色々なことができます。しかし、長いと思える夏休みでも、ダラダラと過ごしてしまうとあっという間です。

「これだけはやったぞ!」と最終日に言える夏休みを過ごしてほしいと思います。細かく言えば「因数分解はマスターしたぞ!」「毎日〇〇を続けられた!」など、何か一つでも夏休みで「やり遂げた」充実感があれば、最高の夏休みだったと言えるのではないのでしょうか。



中学生の皆さんへ

1. 夏休みの宿題は期限厳守で提出しよう!
宿題で、夏休み中の学習成果を測るという意味があります。提出しないものや期限を過ぎてしまわないように、計画的に取り組みましょう。
2. 前期7月までの復習をしよう!
学校の授業のない40日間は、自分のペースで勉強できる貴重な時間です。苦手を克服し、得意を強化するビッグチャンスですから、最大限有効活用したいものです。
3. 9月以降の予習を進めよう!
復習を終えて余力のある場合は、是非とも予習をおすすめします。特に学校が始まる8月後半の約2週間には、学校の教科書内容を先取りしておきましょう。9月からの学校の授業内容の理解度が格段に上がります。当然、定期試験の結果にも反映されます。

7月・8月の試験等

- ・ 7月23日(月)～7月31日(火) 中学生勉強会
- ・ 7月23日(月)～7月27日(金) 高校生夏期講座第1クール
- ・ 7月30日(月)～8月3日(金) 高校生夏期講座第2クール
- ・ 8月6日(月)～8月10日(金) 高校生夏期講座第3クール
- ・ 8月13日(月)～8月17日(金) 高校生夏期講座第4クール
- ・ 8月18日(土) 《高校1～3年生》 GPS Academic (希望者)
- ・ 8月27日(月)・28日(火) 《高校3年生》 京大入試実践模試(希望者)
- ・ 8月31日(金) 《高校3年生》 センター試験本番レベル模試(希望者)